

平成 30 年度事業計画

事業執行方針

平成 30 年 4 月から 6 月は J R グループによる「デスティネーションキャンペーン」が行われ、国内外問わず多くの観光客が訪れる。この絶好の機会を活かし宇都宮の魅力を広く発信する。また二年後にせまった 2020 年の「オリンピック・パラリンピック東京大会」、2022 年の「栃木国体」開催にあわせて、国内外からの来訪者に対するおもてなし体制の強化を図り、宇都宮全体の観光振興を推進する。

更に、宇都宮の貴重な観光資源である「大谷」の注目度が増していることから、情報発信を強化していく。

これらの観光振興のチャンスを最大限に活かし、当会がこれまで培ってきた観光関係団体等との連携協力体制をベースに、戦略的な観光プロモーション、新たな観光資源の創出を行うことで、当会が担う宇都宮観光振興の中核としての役割を果たしていく。

主な取組としては D C 本番にあわせ「餃子・ジャズ・カクテルの地域資源の戦略的な取組の強化」、「宿泊事業者等と連携した着地型観光の促進」、「ロケーションツーリズムの促進」、おもてなし体制の強化のための「企業やボランティアとの協働によるおもてなしの向上」、情報発信の強化として「インバウンドにかかる情報発信の推進」、「大谷の情報発信の推進」を行うほか、地域経済の活性化のための「M I C E 誘致の取組」を進めるとともに、宇都宮観光振興の中核としての役割を担う「今後の組織の在り方検討」に取り組んでいく。

1 宣伝誘致の強化

戦略的に宣伝誘致を着実に実施していくため、リーフレット等による情報発信はもとより、face book やインスタグラム等 S N S を積極的に活用した情報発信を行う。

(1) 宣伝印刷物等の作成

① 観光目的別リーフレット（「まち歩きマップ」、「餃子マップ」、「ジャズマップ」、「カクテルマップ」）、宇都宮市観光ポスター

② 外国人向け観光リーフレット（「駅周辺さくらマップ」「ミニシティガイド」）

(2) 機関紙（Uめ〜る）発行、配布年 2 回（会員情報の発信、M I C E 誘致促進）

(3) デスティネーションキャンペーンと併せた観光プロモーションの推進【強化】

（国外・首都圏外プロモーションの実施、映画「キスできる餃子」を活用した観光プロモーションの実施）

- (4) 多様な媒体による情報発信
 - ① HPを軸に face book やインスタグラムや観光アプリを活用した情報発信及びインバウンド強化（多言語対応ページの作成【拡充】、インスタグラムの活用【新規】、「大谷」のPR強化【新規】）
 - ② パブリシティ（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等）の活用
- (5) 周辺観光地との連携の検討
- (6) フィルムコミッション事業の推進（ロケーションツーリズム促進のための「うつのみやロケ地マップ」作成【新規】）
- (7) 観光フォトコンテスト等による観光プロモーションの展開（インバウンド向けHPでの写真掲載【新規】）
- (8) 観光案内所の運営及び維持管理
 - ① JR 駅構内案内所におけるおもてなしの推進
 - ② インバウンドへの適切な対応（タブレットを活用した観光案内の実施【新規】、外国人向け案内マップの作成【新規】）
 - ③ 宮島町臨時観光案内所の運営【新規】

2 おもてなし体制の確立

- (1) おもてなし推進事業の実施
 - ① おもてなしの普及啓発
 - ア) おもてなし講演会や勉強会等の開催
 - イ) 観光関連団体(ホテル・土産品協会等)とおもてなし向上についての勉強会
 - ウ) インバウンド用マップの作成（「駅周辺さくらマップ」「ミニシティガイド」の作成、外国人向け案内マップの作成(再掲)）
 - エ) おもてなし出前講座の実施（商工会議所青年部との連携）
 - ② 観光ボランティアの育成
 - ③ 観光ボランティアガイドとの連携促進
- (2) 二次交通の強化（「宇都宮益子フリーきっぷ」等の販売支援）

3 観光推進事業の展開

DCを踏まえたイベントの拡充を図るとともに、地域資源の観光化や資源間連携を進め、観光客ニーズに応じた観光振興を促進する。

- (1) デスティネーションキャンペーン事業の参画（宇都宮市DC推進委員会事務局運営）
- (2) 地域を巻き込んだ観光イベントの実施
 - ① ふるさと宮まつり
 - ② 宇都宮餃子祭り
 - ③ 宇都宮カクテルカーニバル, 宇都宮カクテルナイト(宇都宮カクテル倶楽部 20周年事業)
 - ④ 宇都宮ジャズクルージング

- (3) 広域観光事業の推進
 - ① 北関東三県交流事業の検討
 - ② MotoGP プレイメント事業による広域連携事業の強化（宇都宮・芳賀・市貝・茂木）
- (4) 新たな観光コンテンツの検討
 - ① スポーツツーリズムとの連携（ジャパンカップサイクルロードレースの支援）
 - ② 観光と農商工との連携（「とちおとめ・スカイベリーカクテル」等の商品化支援）
 - ③ 着地型観光事業の推進（「餃・ジャ・カチケット」の活用）

4 コンベンション事業の推進

MICE 誘致の強化を図るとともにリピーター獲得に向けた支援事業を実施する。

- (1) 支援資料等の作成
 - コンベンションバック等の販売促進にかかる取組
- (2) 誘致活動の実施
 - ① コンベンション主催者へのセールス活動の推進
 - ② コンベンション施設ガイドの提供（二か国語ガイド，土産品パンフレット提供）
- (3) 主催者への支援
 - ① 歓迎看板・ビラの作製・掲出
 - ② 観光資料の提供
 - ③ HPでの情報発信
 - ④ アトラクション等の調整
 - ⑤ コンベンション開催時における土産品の販売
- (4) 情報提供や効果の検証
 - ① 会員に対するコンベンションスケジュール等の情報提供
 - ② 機関紙（Uめ〜る）発行，配布年2回（会員情報の発信，MICE誘致促進）（再掲）
 - ③ コンベンション開催後のニーズ調査の実施【新規】

5 観光関係団体等との連携強化

関係団体と連携を強化しながら，観光振興やブランド向上を図る。

- (1) 宇都宮餃子会，宇都宮ジャズ協会，宇都宮カクテル倶楽部の協力体制の確立
- (2) 宇都宮商工会議所との連携
- (3) 観光イベント等への後援・協賛

6 経営基盤の強化【拡充】

当協会の発展に向け、中長期的な経営基盤を確立する。

- (1) 組織の基盤強化を見据えた今後の組織の在り方の検討
- (2) 職員のノウハウの継承・人材育成（研修体制の確立）【拡充】
- (3) 会員利益の最大化と新規会員の獲得（会員勧誘活動の強化）
- (4) 自主財源の確保【強化】（「餃子ファイル」の販路拡大, 「宇都宮益子フリーきっぷ」等の販売推進, HP 等を活用した広告宣伝収入の充実）